更新 SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　事業者名：熊本産業文化振興株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念を明文化し社内で共有し、年度初めには、経営者が年度経営目標を発し、社員一人一人が経営目標達成に向けて、自らも目標を設定し努力実践している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令遵守規定を設け、マニュアル化しており、社員研修も実施している。また、弁護士、税理士、社会保険労務士と顧問契約を結び、常に相談しながら適正に業務を行う体制を構築している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		公正な競争を行なえるよう、社員全員が常に心掛け、社内での情報開示・情報共有も行っている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		外部委員で構成される評議会を設置し、定期的に会議を行い、客観的な視点から、企業活動の公正・平等でかつ社会的影響についての意見を頂戴し活動の指針としている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		株主に、著作権等に対して厳しい取扱いが必要なテレビ局等県内マスコミ各社が並んでおり、その取扱いについては、親会社への相談等を含め、適正に行っている。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報保護方針（プライバシーポリシー）を制定し、ホームページにも掲載しており、自らの規律によって個人情報の保護に万全を期している。また、顧問弁護士を講師に、個人情報保護についての社員研修を適宜実施している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		施設の来場者・主催者に毎年アンケートをとり、またホームページでも苦情その他の要望を収集・分析し、結果をふまえ、より良い企業活動に繋げている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	委託業者・取引先別に担当部署を決め、情報の収集、コミュニケーションを密にし、地球環境や人権侵害等への配慮等について問題意識の共有に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	熊本地震の経験を踏まえ、地震・大雨・台風・テロ・感染症など幅広い被害を想定したBCPを作成し、年2回避難訓練も実施している。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		差別やハラスメントについて細かく就業規則に定め、ハラスメント防止のポスター社内掲示喚起や社員研修を行い、常に人権意識を持つようにしている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		ヘルスター健康宣言を行い、社員の健康管理に努め、また安全衛生推進者を選任し労働環境の整備に取り組んでいる。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		社労士の指導の元、同一労働同一賃金のガイドラインを理解し、公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や、介護・育児など働き方改革への取組み、ボランティア休暇の導入などワークライフバランスを推進する環境を整えている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		業務のスキルアップに繋がる各種研修制度を設け、資格の取得を目的とした費用等も全て会社で負担している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		共済制度に2か所加盟し、年1回の健康診断、インフルエンザ・風疹等の予防接種なども会社負担で実施している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		業務運営・昇格・昇進について、人種・性別の差別はなく、就業規則でも子育てに配慮した規則を設け男女が差別なく働くことができる環境を整えている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	感染症対策として、テレワーク、ウェブ会議も導入できる体制を整えている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・ペーパーレス化チームを組成し、オンライン化業務改革に取り組んでいる。手続きや請求書等の電子化を進めている。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	2019年10月ブライト企業に認定され、2024年11月認定更新中である。			3	4				8	9			12					

更新 SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　事業者名：熊本産業文化振興株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・排出される廃棄物のうち、古紙・空き缶・ペットボトル等リサイクルすべきものについては、適正な処理事業者に処理を委託するなどの取り組みを実施している。 ・グリーン調達推進のため、業務上必要な物品購入については、可能な限り「グリーン購入法」の趣旨にのっとり、環境に配慮した製品・サービスを優先して購入している。 ・廃棄物の処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、一般廃棄物として適正に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を算出している。 太陽光パネルを設置し、オフィスの節電に取り組んでいる。 ・社用車は、ハイブリッド車を使用している。 LEDの使用を徹底している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いて温室効果ガス排出量を算出している。 ・グリーンカーテンの実施、照明器具のLED化などを更に進め温暖化対策に取り組んでいる。またクールビズ・ウォームビズを導入している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		施設に新設するベンチを間伐材使用の木製のものにする等の取組みを行っている。 熊本のアサリを守ろうという「ひごんアサリ調査隊」の子供たちが考えたアサリメニューを、2Fレストランにて県内アサリを使って料理し提供している。（期間限定）						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		オフィスで発生する紙類のゴミ抑制の為、専用の回収箱を設置し古紙の分類を徹底している。 またコピー機には再生紙などの利用を促進している。ペーパーレス化を進め、データは電子化できるものは行い、紙資源を古紙分類してリサイクルに取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		雨水を溜めて、トイレ用水などの中水として利用している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		業務上必要な物品購入については、可能な限り「グリーン購入法」の主旨に則り、環境に配慮した製品・サービスを優先して購入している。また、購入先選定に当たっても、ISO14001認証取得企業を選定している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	施設の敷地内の樹木・芝などの植栽を定期的に造園業者に依頼して剪定を行い、緑化維持に取り組んでいる。また毎年グリーンカーテンを実施している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	施設内の照明器具をLEDに置き換え、またその一部の照明を、屋外に設置した太陽光発電によって賄っている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	県下の工業高校に依頼して木製のベンチを制作し、敷地内に設置している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・社用車は、ハイブリッド車を使用している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新 SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　事業者名：熊本産業文化振興株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		利用者のニーズを把握し、サービスの向上に努める為、利用者へのヒアリングやアンケート、意見箱の設置、ホームページでの問い合わせフォームでの24時間受付を行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・車椅子を配備しており、駐車場・入口のスロープも設置している。 ・緊急時に使用するレスキュースライダーも配備している。 ・授乳室の設置など、表示看板には解り易いピクトグラムを採用している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	レストランでは、食材には地産地消を心がけており、熊本のアサリを守ろうという「ひごんアサリ調査隊」の子供たちが考えたアサリメニューを、熊本アサリを使って料理し提供している。（期間限定）		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		近隣の小学校と連係し、太陽光発電施設の見学や、職場体験の受入れ、また町・商工会などと連携し、賑わい創出づくり委員会のメンバーとなり、取組みのお手伝いを行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		定期的な消火訓練や、災害時対応用の防災備蓄や防災グッズを常備している。また、詳細なBCPを作成し従業員に徹底している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	県・市・町と防災協定を結び緊急時に備えている。また、危険物管理施設として、これまでの他の模範になるような取組みや、法令違反がなく、長年無事故を継続している等、良好な維持管理をしていることが評価され、熊本県危険物安全協会会長から表彰を受けている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	熊本県下の小学生を対象に環境絵画コンクールを行い、環境問題の啓発活動を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	近隣の小学校から職場体験を毎年受入れ、学びの場を提供している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。